

平成 26 年 9 月 30 日

H26 年度 第 25 回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会実施報告書

実施日： 平成 26 年 7 月 25 日～26 日

会場： ANA ホリデイ・インリゾート宮崎（宮崎県宮崎市青島 1 丁目 16 番 1 号）

参加者総数： 140 名（学生 104 名、教職員・一般 36 名）

担当校： 宮崎大学

実行委員長 大島 達也 宮崎大学工学部環境応用化学科

塩盛 弘一郎 宮崎大学工学部環境応用化学科

大柴 薫 宮崎大学工学部環境応用化学科

学生幹事 代表 佐々木 雄史 宮崎大学大学院農学工学総合研究科 大島研究室

庶務 稲田 飛鳥 宮崎大学大学院農学工学総合研究科 大島研究室

山下 彬宏 宮崎大学大学院農学工学総合研究科 大島研究室

討論会実施内容

会場制の合宿形式で行った。別紙1に示すプログラムに従い、第1日目は、スクール形式に机を並べて、学生企画、特別講演1、企業紹介を順に実施した。第2日目はポスター発表を実施したのち、特別講演2、総合討論を行って本会を閉会した。本会の会計報告書を別紙3に記載する。

学生企画 「グループワークを通じた学生間交流と化学工学学習」

大学をまたぎ6人程度のグループをつくり、「脱出ゲーム」のような趣向のゲームを行い、お互いにアイデアを出しながら次々と化学工学および英語の課題を解き進め、グループ間でゴールに向かい競争する企画を行った。この企画では学生間の協力が不可欠となるような状況を与え、学生間での活発な交流を促し、その後のポスターセッションではより踏み込んだ内容での討論ができるような環境を提供することを目的とした(別紙2-1写真)。なお、化学工学の出題内容は、化学工学会の認定資格である「化学工学技士(基礎)」の出題事例を参考に、英語課題は TOEIC 公式の出題例を基に作成した。

正解を導くと屋外へ次の問題を受け取りに行くように設定するなど、オリエンテーリングの要素も組み込んで課題を設定し、参加者が熱心に取り組む様子が見て取れた。しかしながら、制限時間内に全ての課題を解いてゴールまでたどり着けるチームが少なく、問題の難易度が高いという声があがった。

特別講演1 「効果的な質疑応答の対処法」 講師 川上 輪子 氏(リンクサイエンス)

川上 輪子氏による特別講演を実施した。内容は英語を母国語としない発表者を対象として米

国の大学で実際に取り入れられている訓練方式をもとに質疑応答の対処方法を講義で学んだ後、実践問題を解いて効果的なプレゼンテーションのコツが身につけられるようワークショップ形式の講演を行った(別紙2-1写真)。

この講演は今後国際学会にて口頭発表する学生等の参考となることを目指した企画である。国際学会の発表において質問へ適切に回答するための方法についてレクチャーされるなど具体的な内容が多く、学生・先生の双方から好評価を得た。

企業紹介

企業紹介は富士シリシア化学株式会社、千住金属工業株式会社、株式会社ロキテクノ、株式会社クラレの4社が各30分の持ち時間で会社の概要、製品開発の取り組み、学生へのメッセージなどの内容を含む発表を行った(別紙2-2写真)。

学生がそれほど耳にすることのないB to Bの会社に多数参加いただいたため、就職活動の参考になったという意見があった。一方話を聞いていない学生も若干名おり、反省点が残った。スクール形式で全員に対して一斉に発表する形式だったため質問がでにくかったことから、いくつかのグループに分かれ、質疑を行いやすい環境を整えるべきだったと思われる。

その後、立食形式にて親睦会を行った。企業参加者にも参加いただき、企業と学生・教員の交流がさらに深まる様子が見えかけた。

ポスター発表

7月26日9:00からポスターセッションを実施した(奇数番60分+偶数番60分)(別紙2-2写真)。また、企業参加者についてもそれぞれポスター展示を行っていただいた。学生ポスター発表の審査対象は100件であった。参加者全員が審査員となり、教員票は学生票の3倍の得点として投票によりポスター審査を実施し、上位15名をポスター賞受賞者として選出した(別紙4)。閉会式にポスター賞受賞式を行い、賞状と副賞(図書券3,000円)を授与した。

特別講演2「化学工学会九州支部長 特別講演」講師 草壁 克己氏

本会は第25回の大会であることから、特別講演として九州支部長 草壁 克己氏に約40分のご発表を頂いた。学生や若手教員がどのようなことを考えて日常を過ごすべきかというメッセージを様々なご経験を基に発表いただいた。アンケートでも「もっと話を聞きたかった」等のコメントがあり好評であった。支部と本会の連携を密にするという意味でも、初めての支部長参加の意義は大きかったように思われる。

その後、ポスター賞授賞式、総合討論、会計報告、アンケート調査を行ってから、本会を閉会し、集合写真を撮影して(別紙2-3写真)解散とした。次回第26回大会は佐賀大学 川喜田英孝准教授を世話人として開催される予定である。

(別紙1)

第25回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会 プログラム

【第1日目 平成26年7月25日(金)】

12:00~13:00 参加受付

13:00~14:45 学生企画

「グループワークを通じた学生間交流と化学工学学習」

15:00~16:15 特別講演

「効果的な質疑応答の対処法」

講師 川上 輪子 氏 (リンクサイエンス)

16:15~18:15 企業紹介

- ・富士シリシア化学 株式会社
- ・千住金属工業 株式会社
- ・株式会社 ロキテクノ
- ・株式会社 クラレ

19:00~21:00 親睦会

【第2日目 平成26年7月26日(土)】

9:00~11:10 ポスター発表

* 学生ポスター発表と企業ポスターセッションは同時開催いたします。

学生の発表は前半・後半に分け1時間ずつの発表となります。

11:10~11:40 化学工学会九州支部長 特別講演

講師 草壁 克己 氏 (崇城大学 教授)

11:40~12:00 総合討論・表彰式・閉会式

(別紙2-1)



図1 学生企画の様子1



図2 学生企画の様子2 (問題に取り組む様子)



図3 特別講演の様子 (講師：川上 輪子氏)

(別紙2-2)



図4 企業説明の様子

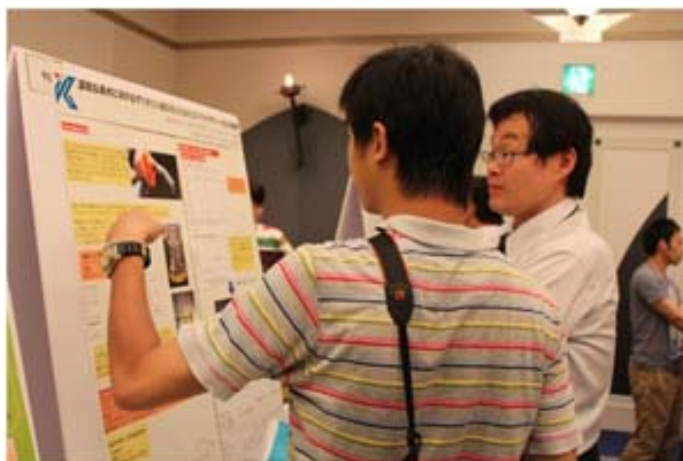


図5 ポスター発表の様子



図6 特別講演の様子（講師：草壁 克己氏）

(別紙 2 - 3)



図7 集合写真

(別紙3)

第25回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会 会計報告

○支出	
会議室料	151200
映像機器使用料	126360
看板	81000
要旨集印刷・製本料	150660
名札代(ホルダー代込み)	31428
講師 旅費・謝金	112216
事務取扱手数料	54000
親睦会費	656995
宿泊費	864050
表彰関係(図書カード)	45000
アルバイト料	100000
保険(振込料込み)	40953
学生企画費	15425
事務費(郵送、印刷)	18776
支出計	2448063

○収入	
九州支部 討論会補助金	150000
学生企画 補助金	100000
南九州化学工学懇話会	100000
石油学会ジュニアソサイアティ	20510
学生参加費(8000円) 93名	744000
学生参加費(不泊)(4000円) 11名	44000
教員参加費(14000円) 24名	336000
教員参加費(不泊)(7000円) 1名	7000
みやざき観光コンベンション協会	600000
企業参加・広告費 A(4社)	212000
企業参加・広告費 C(8社)	120000
企業参加・広告費 C(1社)	14676
利息	16
収入計	2448202

次年度繰越(収入計－支出計)	139
----------------	-----

(別紙4)

第25回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会 ポスター賞受賞者

No.	氏名	所属	演題
10	高瀬 大樹	北九州市立大学	Co と Ni の向流多段抽出分離
19	澁谷 誠	九州大学	糖含有モノリスの開発および生体分子分離への応用
22	崔 シン楠	九州大学	Inhibition of bacterial adhesion and protein adsorption on hydroxyapatite surface by using PEG-phosmer copolymer
27	出口 奈緒	九州大学	Solid-in-Oil 化技術を用いたヒアルロン酸の経皮デリバリー
28	末廣 あゆみ	九州大学	翻訳後修飾酵素を用いた超分子ハイドロゲルの創製とその応用
33	秋山 亮輔	九州大学	シリカ被覆による担持 Pt 触媒の耐久性向上
34	松藤 貴大	有明高専	ホウ素除去材料開発のための分子設計指針の確立
37	平山 茜	有明高専	加圧熱水によるリグニン由来化合物の回収
38	高岡 祐士	佐賀大学	支持膜上に形成させたコロイド積層構造の特性評価
54	安本 昇平	熊本大学	超臨界二酸化炭素および向流接触法を用いた柑橘残渣の有価物分画
56	内門 真之介	熊本大学	マイクロ波照射を用いたグリセリンの GTBE への迅速簡易変換
62	佐々木 雄史	宮崎大学	新規アミノリン酸系抽出剤の合成とインジウムおよびガリウムの選択的分離
65	徳丸 恵	宮崎大学	チオール系抽出剤による廃電子機器からのインジウム、ガリウムおよび亜鉛の高選択的抽出に関する研究
68	日高 葉	宮崎大学	キトサンを利用した Sb, As, Se の除去材の開発と工業的応用
88	田中 啓寛	鹿児島大学	流動触媒層反応器での流動性悪化時におけるウェーブレット変換を用いた圧力信号の解析